

平成30年7月2日

沖縄県産特産品製造・流通・飲食業の品質管理高度化推進人材育成事業
研修参加者 募集要項（案）

1) 応募資格

- ①本研修会の全科目出席が可能な者
- ②食品製造・流通・製造業に3年以上従事した経験のある者
- ③PCの基本操作（word, excel, powerpoint 等の事業報告、発表に必要なアプリケーションの操作含む）が可能な者
- ④本研修会に関し、業務上十分な時間をさける者（所属企業の上司から推薦状を受ける事ができる者）（参加者対象部署：研究・製造、企画、営業など）
- ⑤平成30年4月1日において満55歳以下の者

2) 募集定員

- ①飲食業・小規模製造業品質管理人材 15名
- ②特産品製造・流通品質管理人材 10名

3) 研修期間 平成30年9月から平成31年3月まで

4) 研修科目

4-1. 【集合研修】

4-1-① 飲食業・小規模製造業品質管理人材（別紙研修概要参照）

イ)「飲食店・小規模製造業における品質管理体制（HACCPの考え方に基づいた衛生管理）」構築講座 合計12時間（座学4時間、ワークショップ6時間、発表・試験2時間：3日間）

開催日：平成30年9月12日（水）、10月12日（金）、11月20日（火）

ロ)「衛生管理アピールを集客に繋げるレストラン販促講座」

合計15時間（座学6時間、ワークショップ6時間、発表・試験2時間：3日間）

開催日：平成30年9月6日（木）、10月4日（木）、11月8日（木）

ハ)「飲食店・小規模製造業における県内顧客・インバウンド顧客への販路拡大講座」

合計15時間（座学4時間、ワークショップ6時間、発表・試験2時間：3日間）

開催日：平成30年9月19日（水）、10月17日（水）、11月1日（木）

4-1-② 特産品製造・流通品質管理人材（別紙研修概要参照）

イ)「自社で構築できる高度品質管理体制構築講座」合計22時間（座学8時間、実地研修4時間、ワークショップ8時間、発表・試験2時間：4日間）

開催日：平成30年9月12日（水）、10月12日（金）、11月20日（火）、12月14日（水）

ロ)「今求められる沖縄特産品の新商品開発講座」合計14時間（座学6時間、ワークショッ

プ 6 時間、発表・試験 2 時間：3 日間)

開催日：平成 30 年 9 月 5 日(水)、10 月 3 日(水)、11 月 7 日(水)

ハ)「食品表示・商品マスター入力講座」(座学 8 時間、ワークショップ 8 時間：3 日間)

開催日：平成 30 年 9 月 20 日(木)、11 月 14 日(水)、12 月 3 日(月)調整中

ニ)「施設監査対応講座」(座学 4 時間、施設監査模擬 4 時間：①日間)

開催日：平成 30 年 10 月 18 日(木)、調整中

4-2. 【県外実地研修】

4-2-① 飲食業・小規模製造業品質管理人材（別紙研修概要参照）

イ) 県外研修

先進観光地である北海道での飲食店衛生管理手法（さっぽろ HACCP）の実地研修、検討委員会等に参加

ロ) 研修結果（事業実施内容）成果発表会

研修中に構築した特産品を活かした季節メニューの管理手法・インバウンド集客へ繋げる方法を実施した成果を定量的に比較検証して、その内容を発表する。

4-2-② 特産品製造・流通品質管理人材（別紙研修概要参照）

イ) 県外研修

北海道 HACCP の実地研修、検討委員会等に参加するとともに、大手サプライチェーン（さっぽろコープ、地元コンビニベンダー、EU 輸出水産加工会社等）の視察を行う

ロ) 研修結果（事業実施内容）成果発表会

研修中に構築した工場内の効率化・プロセスマネジメント（HACCP）手法（製造作業の標準化と効率化（5S 管理）、スタッフへの教育方法、記録体制の整備とトレーサビリティ、クレーム発生時の是正措置、振返りと PDCA サイクルの構築）についての成果物を定量的に比較検証して、その内容を発表する。

5) 研修中の処遇

(1) 旅費および宿泊費：本事業による支給（※公金による事業の為、個人に経済的利益の発生するポイント（マイルなど）の貯込みは行わないこと）

(2) 労働保険・社会保険等：所属企業での加入

※本研修への参加は、所属企業における業務の一環として参加すること

※研修参加に関する日当・手当等は、本事業からは給付されません。

6) 選考方法

本事業実行委員会による選考（提出書類等による検討）を経て決定する。

7) 応募手続

(1) 応募申請書（応募資格、キャリア要約、本事業への志望動機、自己 PR）【様式 1】

(2) 履歴書（職務経歴、職歴、保有資格等がわかるもの）

(3) 推薦状（推薦者は、所属企業の上司、所属団体（食協その他）の長とし、推薦理由を記載すること）※様式はありません。記載例を参考にして下さい。

(4) 保有資格の資格証の写し

※履歴書には必ず写真貼付、印鑑を捺印のこと

以上

・推薦状 記載例（あくまで一例です。）

平成 30 年〇〇月〇〇日

一般社団法人沖縄県食品衛生協会
沖縄県産特産品製造・流通、飲食業の品質管理高度化推進人材育成事業
実行委員会 御中

株式会社〇〇〇〇
代表取締役社長 〇〇〇〇

品質管理高度化推進人材育成事業研修生の推薦につきまして

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

さっそくではございますが、この度、品質管理高度化推進人材育成事業研修生の募集に際し、応募申請について、下記の推薦させていただきます。

【推薦者】

〇〇〇〇（←肩書など）の〇〇〇〇です。

【推薦理由】

〇〇〇〇は、現在〇〇〇〇に従事しており、〇〇〇〇の分野で活躍中です。（←簡単なプロフィール・アピールポイントを書きます）。

本研修の参加により、〇〇〇〇には 〇〇〇〇のスキルを身につけて、〇〇〇〇の分野で貢献し、〇〇〇〇の成果を出すことを期待しております。

【研修への協力体制】

本研修の参加期間については、〇〇〇〇の担当業務に関し、〇〇〇〇の対応を行うことで、しっかりと研修参加のための時間を確保し、必須条件である全科目出席を満たすよう社内で協力体制を構築します。（※本研修は、全科目出席が必須条件のため、研修への協力体制の準備とその内容の記入は必ず行ってください。）

末筆ながら、今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬具